

歴史・文化、自然再生 WG とは

歴史文化、自然再生 WG は歴史的河川施設である内膳堤の復元計画、多様な生物の生息環境である水辺の保全再生、その他、歴史・文化、自然再生に係る取り組みについて検討しているグループです。これまでに下内膳の復元計画の検討や亀の甲に関する調査、アユモドキの新たな産卵場所にもなり得る多様な生物の生息環境創出の実現方法について検討しています。

歴史・文化、自然再生 WG の検討内容

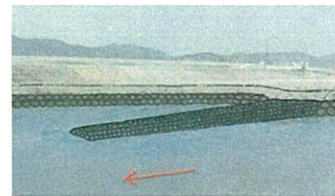
●対象エリア



●主な検討内容

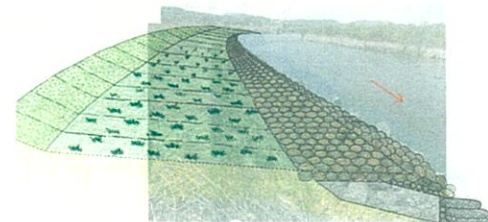
●内膳堤の復元計画

・上内膳は保全のための補修を行い、下内膳については、当時の構造や目的を調査し復元計画を策定しました。亀の甲については文献などにより、いつ頃なくなったのかを調査しています。



●水辺の保全再生

・川に近づきやすく、動植物の生息・生育空間に配慮した多孔質な環境を形成する水際の整備計画を策定し、一部工事実施しました。



●多様な生物の生息環境づくり

・保津川左岸側最下流部において、アユモドキを含む多様な生物が生息できる環境づくりを検討しています。



キーワード

歴史文化 自然環境 景観 アユモドキ

これまでの実績と今後の予定

大目標	小目標	主体	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29~	備考
保津川と人との関わり の歴史を伝える	上・下内膳堤の復元	京都府	↔					↔		下内膳堤
	歴史・文化の伝承	未定						↔		歴史・史跡マップ作成
水辺環境の 保全再生	水際の保全・再生計画	京都府	↔	→			→			高水敷掘削工事と進捗調整
	ワンドの創出	京都府		↔						八の坪
多様な生物の生息環境づくり	アユモドキの生息環境創出	京都府			↔	↔				左岸高水敷
自然を感じる交流・ふれあいの場創出	水辺の小経の整備	未定						↔		高水敷掘削工事と進捗調整

計画・設計

工事

※平成27年度以降は予定です。

今後の予定

水辺の保全再生については、平成24年度に一部工事を実施し、状況を見ながら今後も実施予定。また、内膳堤の復元計画については、WG で出された意見をふまえて詳細設計を進めます。亀の甲については文献調査を引き続き行い、多様な生物の生息環境づくりについては、WG での意見を踏まえて工事実施について予定していきます。

●内膳堤などの復元計画

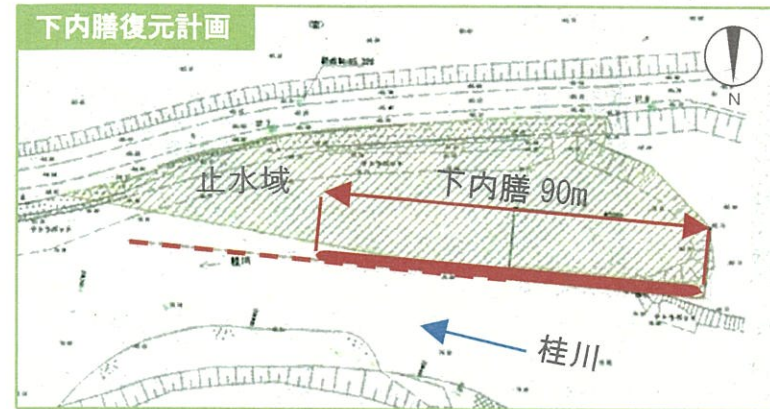
●上内膳の状況

- ・上内膳や下内膳は中小の洪水時に河岸の侵食を洪水から防ぐために作られたと考えられています。
- ・上内膳はコンクリートで補強されており、当時の築造当時の姿を確認することができます。
- ・今後は保全のための補修を検討しています。



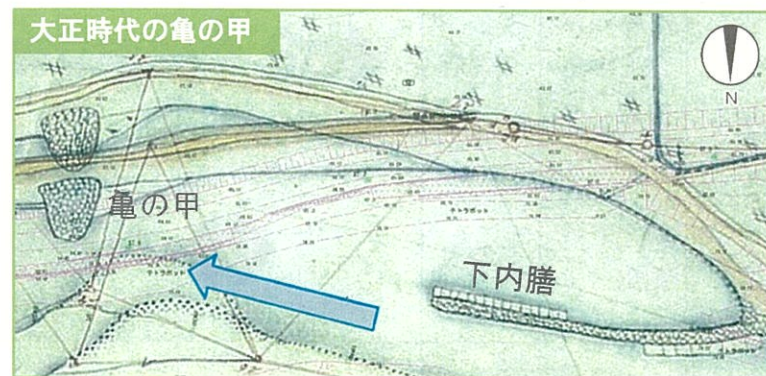
●下内膳の復元計画

- ・下内膳の延長は約 90m だったと文献に記載されていますが、復元にあたっては、少しずつ延長を延ばし、周辺環境への影響を考慮しながら施工する予定です。



●亀の甲についての検討状況

- ・亀の甲は下内膳で対応できない洪水から河岸の侵食を防ぐ役割を持っていたと考えられています。
- ・文献調査や市民の昔話から亀の甲が存在していたことが分かっており、今後はいつ頃なくなったのかを文献調査等で明らかにしていきます。



京都府京都土木工営所図面(大正元年9月)

●多様な生物の生息環境づくり

●対象エリアの現状

- ・検討対象エリアは左岸側の最下流部に位置する高水敷に位置します。

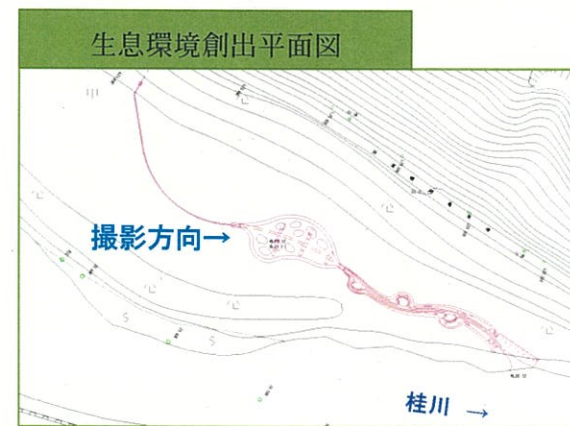


●実施状況

- ・アユモドキの生育環境の場として、谷水が水路、皿状の池を経て桂川本川につながるような環境を検討し、平成 27 年 3 月に生息環境創出ワンドが完成しました。

●検討状況

- ・H27.7の台風11号による桂川水位上昇で当該高水敷が水没しました。その際水路・皿池の一部に砂が堆積しました。維持管理の方法が今後の課題です。



●水辺の保全再生

